

平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	再審査事件等処理システムに要する経費			担当部局庁	保険局			作成責任者
事業開始年度	平成20年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課社会保険審査調整室			山田 航
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	社会保険審査会は、社会保険各法(健康保険法、船員保険法、厚生年金保険法、国民年金保険法等)に関する処分の再審査請求等に係る裁決機関であり、その事務局である社会保険審査調整室は、すべての事件のデータ管理のため「再審査請求等事件管理システム」を構築するなど、事務処理の効率的、効果的な遂行を図っている。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	再審査請求等事件の処理経過等のデータ管理、統計資料の作成、採決事例の検索の他、裁決集の作成等							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	17	13	12	8		
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	17	13	12	8	0		
執行額	6	9	9					
執行率(%)	35%	69%	75%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	再審査請求の処理件数	再審査請求の処理件数に応じて事務処理の効率化に貢献するため、処理件数を目標値としている。	成果実績	件	2,312	1,987	2,003	
			目標値	件	1,200	1,200	2,000	2,000
			達成度	%	100%	100%	100%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	再審査請求の処理件数	活動実績	件	2,312	1,987	2,003		
		当初見込み	件	1,200	1,200	2,000	2,000	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	X:執行額 Y:直近10年の受付件数	単位当たりコスト	(円/件)	487	614	553	-	
		計算式	X/Y	6,088,330/12,502	8,604,690/14,004	8,541/15,439		
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	事務費	1.2						
	委託費	7.2						
	計	8.4	0					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	再審査請求等は年々増加傾向にあり、国民のニーズ、優先度ともに高い。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	健康保険等の処分に関する不服申立制度の第二次審査機関であり、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	健康保険等の処分に関する不服申立制度の、行政の最終判断となる事業を担っている。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	競争性が確保されており、妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	単位あたりのコストは平準的になってきていて妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業目的のみの使途であり、必要なものに限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	入札による差額であり妥当である。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	処理件数が見込みを上回っており、効果的な手段となっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	平成26年度において、見込みを上回る活動実績であった。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	システムは事務処理等の効率的な遂行に活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	平成26年度は(再)審査請求受付件数2,163件に対して、2,003件の裁決等を行っており、目的に沿った予算を執行している。			
	改善の方向性	毎年度、見込を大きく上回る活動実績があり、事務の効率化となっていることから、適正に予算を執行していく。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	287	平成23年度	261	平成24年度	226
平成25年度	259	平成26年度	271		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
9百万円

再審査請求事件の処理経過等の
データ管理、統計資料の作成、裁
決例の活用として事務費2百万円

【委託・一般競争入札】

A. ニューコン(株)
7百万円

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.ニューコン株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	システム運用・保守経費	6.8			
計		6.8	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ニューコン株式会社	システムの運用保守経費	6.83		91.7%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					